

農業機械使用安全講習会



JA筑紫は2月16日、JA農機センターで農業機械使用安全講習会を開催しました。

この取り組みは、近年多発している農作業中の事故を未然に防止するため、安全意識の向上を目的としています。

講習会には麦出荷者部会員や農事組合法人、機械利用組合連絡協議会の32名と福岡普及指導センター、JA農産課職員らが参加。メーカー担当者らが安全な農作業の基本知識や実例を説明しました。また、実際に農機を用いながら操作方法を再確認し、質疑応答を行いました。

参加した部会員は、「実際に農機を見ながら、日頃行っている作業の再確認ができてよかったです」と話しました。

JAでは、今後も農作業事故の未然防止に寄与し、安全な作業ができるよう支援を続けていきます。

農業機械感謝祭でにぎわう



JA筑紫は2月16日と17日の2日間、JA筑紫農機センターで「農業機械感謝祭」を開催しました。

感謝祭は組合員や利用者へ日頃の感謝を込めて催したものです。

会場では、コンバインやトラクターなどを展示し、JAや各メーカーの担当者が仕様や価格などの説明を行いました。

来場者は、「一度に見比べられる機会はなかなかないため、来てよかったです」と話しました。

JAでは、今後も農機具の販売・普及に力を入れ、組合員のニーズに応えていきます。

春夏野菜栽培講習会



JA筑紫は、2月21日と24日の2日間に、大野城、太宰府、筑紫野、春日・那珂川地区で春夏野菜栽培講習会を開きました。JA筑紫農産物直売所ゆめ畑の出荷者80名が参加。

JA営農生活部農業振興課の林三徳園芸指導員や種苗会社の社員が講師を務め、気象状況や春夏野菜の生産に向けたほ場の管理の他、価格が高騰している肥料や農薬を節減する方法について説明しました。

講習会は、技術の向上を図り、消費者へ安定的な野菜供給を目指すことが目的。栽培方法だけでなくそれぞれの野菜の品種紹介をするなど、出荷量増加にもつなげています。

アスパラガス出荷最盛



JA筑紫アスパラガス部会は、2023年産春芽アスパラガスの出荷が最盛期を迎えました。2月24日から共同選果をはじめ、3月にピークを迎える見込み。

全体的に生育は順調。初日の出荷はLサイズを中心に、太めのものが出荷されました。

部会員数12名3法人が面積約2.5畝を栽培し、目合わせや圃場巡回を定期的に行うなど部会員一丸となり品質向上に努めています。また、収量の増加を目指し、市場や先進地への視察を行っています。

JAの担当者は「多くの消費者にぜひ味わってほしいです」と話しました。